

戦争体験を後世に伝える 100歳 現役

おか もと じ ろう
岡 本 次 郎 さん



18歳で棟梁

岡本さんは、1923年に生まれ、城山尋常小学校から高等科に進み、14歳で朝鮮半島に渡り大工見習いとなり、18歳の時、棟梁として学校建築一式を約3か月で完成させました。

首に被弾、意識不明

19歳で徴兵検査のため帰国し、20歳で山口の陸軍歩兵連隊に入隊し、中国の紫金山で連隊砲に配属され（日中戦争）、その後、荊門で首に被弾し意識不明の重体となりましたが、奇跡的に一命を取り留めました。

シベリア抑留

終戦直後の1945年9月9日（23歳）、満州でロシア軍の捕虜となり、シベリアへ連行され、4年3か月もの間、十分な食事も与えられず、苛烈な労働を強要されました。

悩み

出征して7年の27歳で帰国後は、大阪で39年間、大工仕事等で生計を立て、67歳で外入にUターンされ、野菜栽培を始め、100歳を迎えた今も毎日畑で農作業を行っています。

介護サービス等を受けることなく、88歳の妻と二人暮らし。悩みは、「相談できる年上の方がいないこと。」だそうです。



編集日記



今号の表紙は、沖浦小学校3・4年生の皆さんを、7月のみかん栽培に関する課外授業と、9月の通常授業の際に取材させていただき、皆さんの笑顔が輝く、とても素敵な1枚を選びました。

噂の町民紹介コーナーでは、「プロバスケットボール選手が町内にいるらしい。」「SUPを教えてくれる人がいるらしい。」これらの噂を頼りに調査を行い、突撃取材を行いました。

谷口さんや田中さんのように、これまでの町の移住施策とは直接関係なく、周防大島の自然や人に魅了され移住された方々の声を、より大切に、今後の新たな施策提案に活かしたいと思います。

岡本次郎さんは、2年前に「98歳現役」のタイトルで表紙に登場。その際の約束で100歳になる月の今号で再び登場していただきました。次の約束は108歳になる2031年です。

吉 村 忍



発行／周防大島町議会

〒742-2192

周防大島町大字小松126-2

TEL：0820-74-1003（議会事務局）

編集／議会広報編集特別委員会

印刷／（有）日良居タイムス

表紙デザイン／新村則人

表紙写真／吉村 忍



周防大島町議会
ホームページ